

事例1

| | |
|---|--|
| 単元 日本文化を紹介する（第3学年 全4時間） | 英語の目標 「書くこと」イ |
| 単元を通して育成を目指す資質・能力 テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力 | 学習評価のキーワード 「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価 |

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準（「書くこと」の評価規準）

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 受け身を用いた文の構造を理解している。 日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。 | 来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 | 来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。 |

※ここでは、「書くこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「話すこと [発表]」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画（全4時間）

※「書くこと」のパフォーマンス活動を行う単元を題材として取り扱っています。

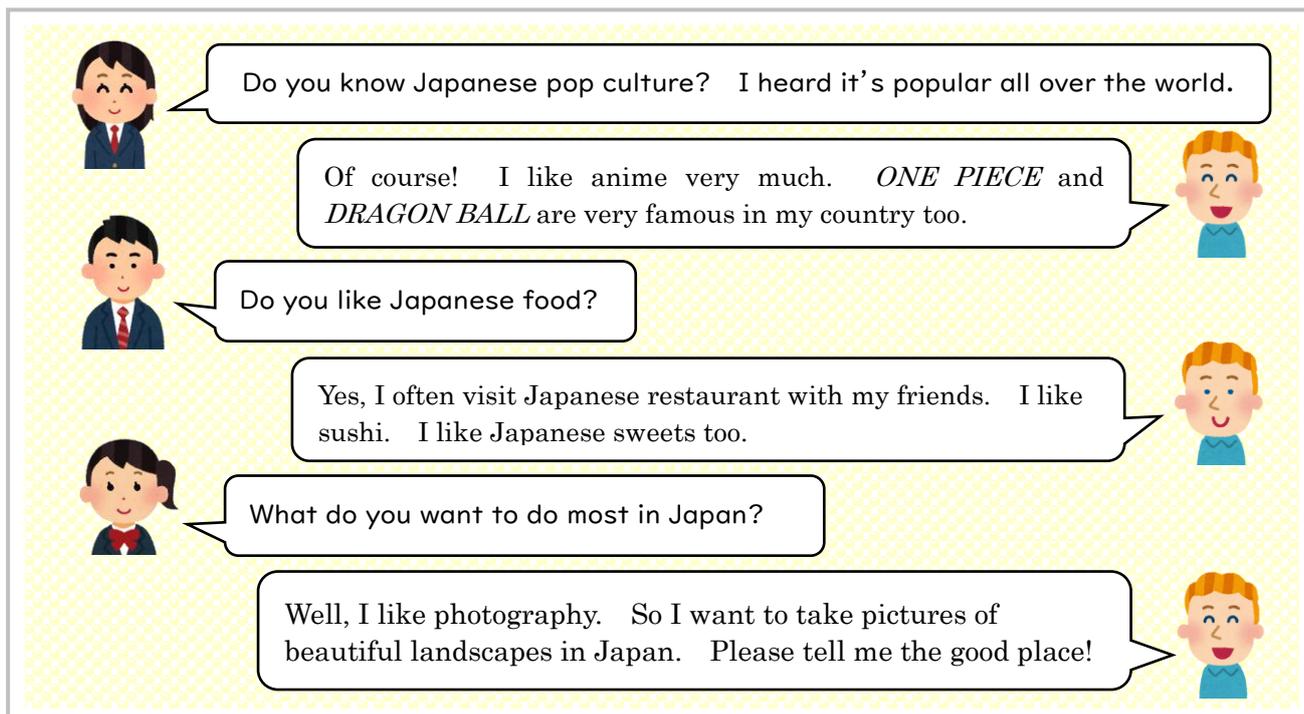
| 時間 | ねらい(■), 言語活動等(丸数字) | 知 | 思 | 態 | [評価方法] |
|----|---|---|---|---|---|
| 1 | ■単元の目標を理解する。 ①自己目標を設定する。 ②「外国から見た日本」の映像を見る。 ■教科書本文の内容を捉え、伝え合ったことを書く。 ③教科書本文を読み、読み取れた内容についてペアで伝え合う。 ④教科書本文に使われている未習の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。 ⑤ピクチャー・カードとマッピングを用いて、教科書本文の内容をペアで伝え合う。 ⑥ペアで伝え合ったことを書く。 | | | | <div data-bbox="981 1467 1444 1579" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 本時では、[指導に生かす評価]を行います。 </div> <div data-bbox="981 1579 1444 1825" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、読み取りのポイントを示す(言語活動等③)。 </div> |

| | | | |
|-------------|---|------------------------------|---|
| 2 | <p>■ALT が知りたい日本文化について、マッピングを用いて伝え合う。</p> <p>①来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について紹介文を書くことを確認する。</p> <p>②ALT が知りたい日本文化について紹介するために、ALT にインタビュー（☞p. 3 資料 1）して情報を収集する。</p> <p>③収集した情報をマッピングする。</p> <p>④マッピングを基にペアで事実や互いの考えをやり取りし、新たに得た情報をマッピングに付け足す。</p> | <p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> | <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が ALT のインタビュー内容について ”What is ALT’s favorite Japanese food?” や ”Where does ALT want to visit?” などと質問し、その答えとなる単語をマッピングに付け足すよう促す（言語活動等③）。 |
| 3 本 時 | <p>■来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>①原稿モデルを提示し、「書くこと」に関する判定基準（ルーブリック）（☞p. 5 資料 3）を確認する。</p> <p>②判定基準（ルーブリック）を基に、自己目標を設定する。</p> <p>③マッピングを基に、日本文化紹介文を書く。</p> <p>④書いた文章をグループで読み合い、修正が必要な箇所に下線を入れる。</p> <p>⑤下線部を確認し、文章を修正する。</p> <p>⑥自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。</p> | <p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> | <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正点を指摘することが困難な生徒に対しては、チェックリスト（☞p. 7 資料 6）を提示し、修正のポイントを示す（言語活動等④）。 |
| 4 | <p>■友達が書いた日本文化紹介文を読み、コメントを書く。</p> <p>①完成した日本文化紹介文を読み合い、読んだ感想をコメントシートに書く。</p> <p>②ALT に日本文化紹介文を渡し、コメントをもらう。</p> <p>③単元の学習を振り返る。</p> | <p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> | <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを記述することが困難な生徒に対しては、振り返りの視点を提示する（言語活動等③）。 |
| 後日 | <p>パフォーマンステスト（☞p. 8） （アメリカの学生にメールを返信する「書くこと」）</p> | <p>○ ○ ○</p> | |

※この単元においては、〔記録に残す評価〕は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。〔記録に残す評価〕は、後日のパフォーマンステストにおいて行います。

※前単元より、日本文化紹介で役立つ表現の口頭練習及びミニ日本文化紹介&write（ピクチャー・カードを用いて日本文化を口頭で紹介した後にその内容を書く活動）を継続して行います。設定（紹介する物や相手など）を変えて繰り返し活動します。

※2校時に行った ALT とのインタビュー内容の一部を次頁資料 1 に示します。



【資料1 2校時に行ったALTとのインタビュー内容の一部】

3 本時[第3時]

(1) 本時のねらい

来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く。

(2) 本時の展開

| 言語活動等 | 教師の指導のポイント |
|---|--|
| ①原稿モデルを提示し、「書くこと」に関する判定基準（ルーブリック）を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ALTに日本文化を紹介する目的を確認する。 読み手に配慮した文章を書くことができるように、原稿モデルと判定基準（ルーブリック）を提示する（☞p. 5 資料3）。 |
| ②判定基準（ルーブリック）を基に、自己目標を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組むことができるように、目標やその達成のための工夫を考えさせる。 |
| ③マッピングを基に日本文化紹介文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> まとまりのある文章を書くことができるように、整理した情報をラベリングしたりナンバリングしたりするよう指導する（☞p. 6 資料4, 資料5）。 |
| ④書いた文章をグループで読み合い、修正が必要な箇所に下線を入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> 読み手に配慮した文章にするために、英語使用の正確さや表現内容の適切さ、文章校正等の視点からチェックリストを提示する（☞p. 7 資料6）。 まとまりのある内容を書くことができている生徒の文章を取り上げ、全体に紹介する。 |
| ⑤下線部を確認し、文章を修正する。 | <ul style="list-style-type: none"> どのように修正すれば、読み手に配慮した文章にすることができるか考えるよう促す。 |
| ⑥自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自己の成長や課題を自覚することができるよう振り返りの視点を与える。 |

4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例において「テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。

(1) 言語活動を行う前に原稿モデルと判定基準（ルーブリック）を提示

本時の言語活動等①「原稿モデルを提示し、『書くこと』に関する判定基準（ルーブリック）を確認する」において、言語活動を行う前に生徒に提示した原稿モデル（資料2）と判定基準（ルーブリック）（p. 5 資料3）を示します。

| | |
|--------------|---|
| Title | How about going to Ogi? |
| Introduction | If you want to experience Japanese culture, you should visit Ogi. |
| Body | <p>Ogi is in the west of Saga city. You can go there by train.</p> <p>There are about 3,000 cherry trees in Ogi park. They are so beautiful. In spring many people visit there to enjoy <i>Hanami</i>. <i>Hanami</i> is a cherry blossom viewing. You can enjoy food and drinks under the cherry trees. If you like photography, you can take pictures of cherry blossoms there.</p> <p>Ogi is famous for Japanese sweets. <i>Yokan</i> is one of the most famous Japanese sweets. It's very delicious. There are many <i>yokan</i> shops in Ogi. Each shop has its original <i>yokan</i> like <i>yomogi</i> flavor, ginger flavor and so on.</p> |

【資料2 原稿モデル】



言語活動を行う前に、資料2のような原稿モデルを提示します。そうすることで、生徒自身が、この言語活動において求められている力や「まとまりのある文章」とはどのようなものなのかを具体的にイメージすることができます。原稿モデルは、教師が作成してもよいですし、実際に生徒が作成したものでもよいでしょう。

分かりました。
あらかじめ、言語活動のゴールの姿を生徒に示すことが大切なのですね。



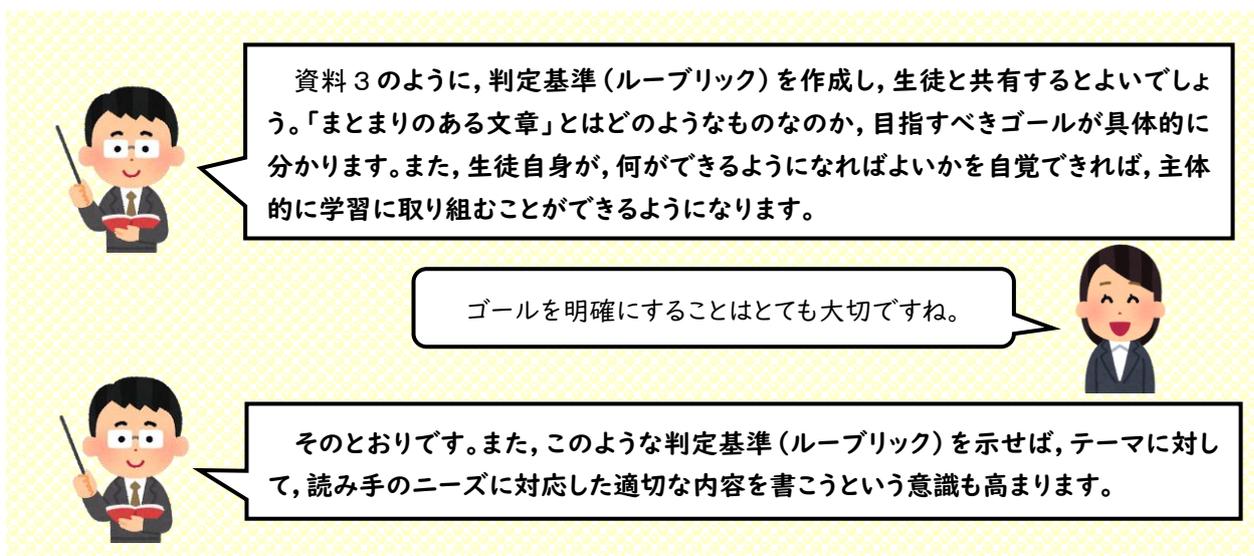
【条件1】：ALT が知りたいこと（インタビューで得た情報）について紹介している。

【条件2】：ALT が知りたいことについて，興味を喚起するように説明している。

【条件3】：ALT が知りたいことについて，事実や自分の考えを整理して，お勧めの理由を書いている。

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--------------------------------------|---|
| a | 誤りのない正しい英文で書くことができる。 | 3つの条件を満たして書いている。 | 3つの条件を満たして書こうとしている。 |
| b | 一部誤りがあるが，コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。 | 1つの条件を満たしていないが，それ以外の2つの条件を満たして書いている。 | 1つの条件を満たしていないが，それ以外の2つの条件を満たして書こうとしている。 |
| c | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

【資料3 判定基準（ルーブリック）】



※判定基準（ルーブリック）を作成する際，「思考・判断・表現」の観点においては，まず「表現内容の適切さ」を評価するための【条件】を設定しましょう。詳しくは，佐賀県教育センターHP「学習評価の進め方」を御参照ください。
(https://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/r2/01_syo_chu_kakukyouta/05_cyu_eigo/cyu_gaikokugo.pdf)

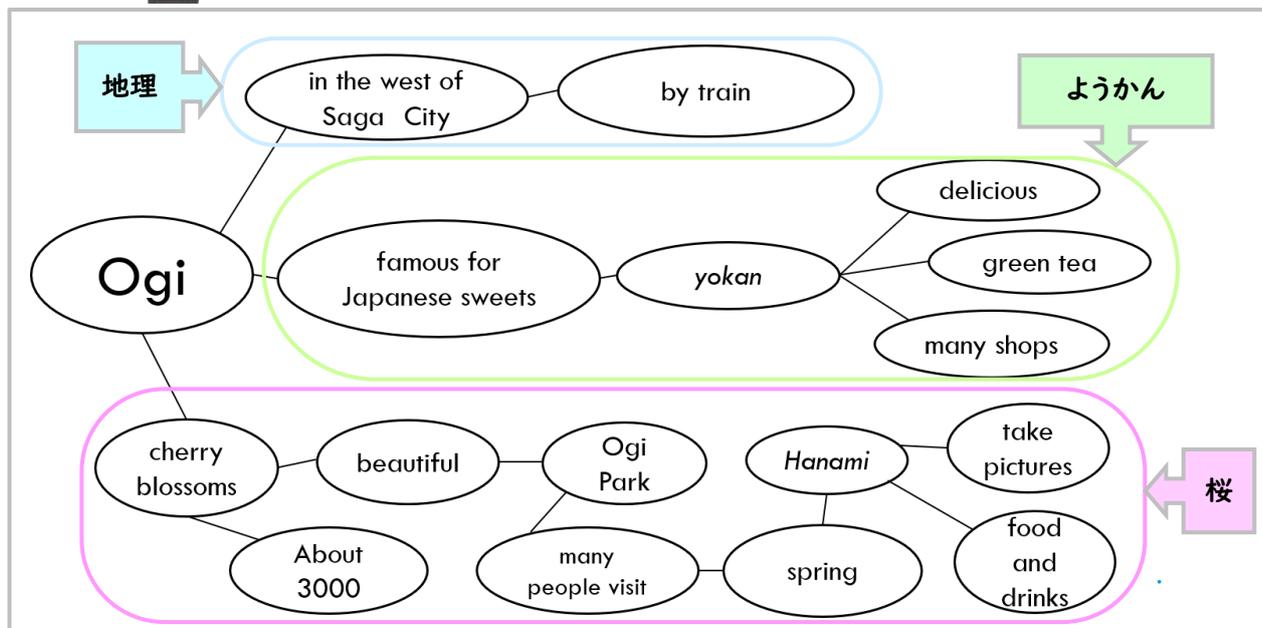
(2) マッピングで整理した情報をラベリング及びナンバリングする場の設定

本時の言語活動等③「マッピングを基に日本文化紹介文を書く」において、マッピングで整理した情報をラベリング（資料4）やナンバリング（資料5）した例を示します。



《ラベリング》

- ① マッピングで整理した情報をさらに同じカテゴリーにまとめます（枠線）。
 - ② それぞれのカテゴリーにタイトルを付けます（矢印の枠）。
- このようにすることで、文章の段落構成を明確にすることができます。

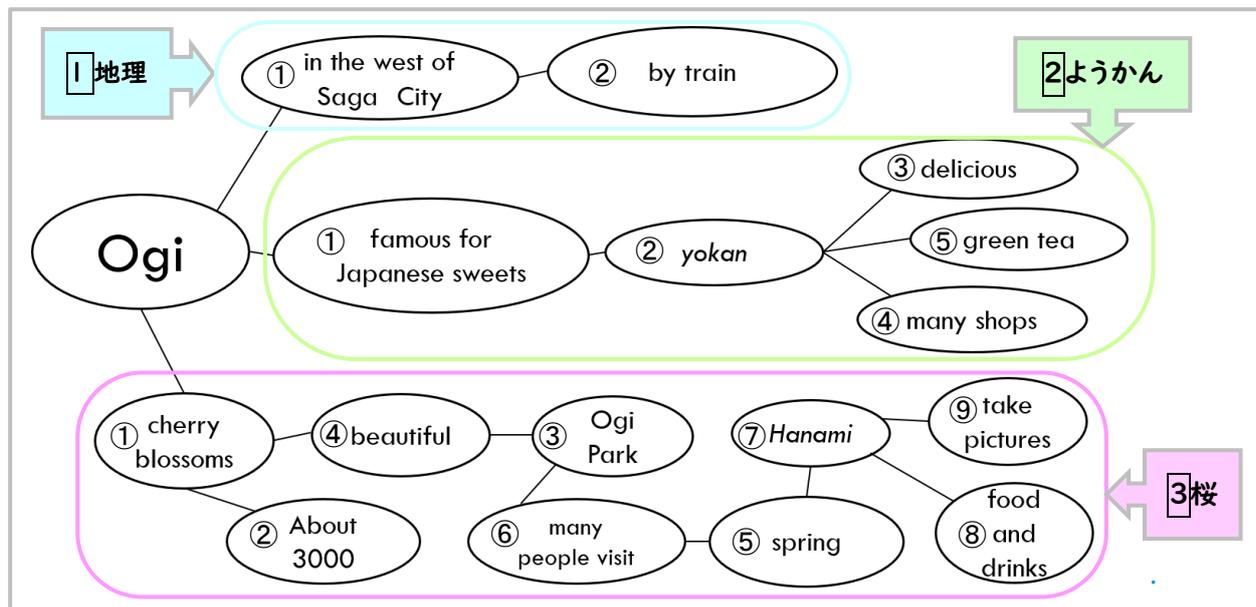


【資料4 ラベリングの例】



《ナンバリング》

- ① 文章全体の流れを考えながら、各カテゴリーのタイトルに番号を振ります（矢印の枠内）。
 - ② カテゴリーごとに、前後のつながりを考えながら、バルーンに番号を振ります（枠線内）。
- このようにすることで、まとまりがよく流れのよい文章を書くことができます。



【資料5 ナンバリングの例】

(3) チェックリストを基にグループで修正する場を設定

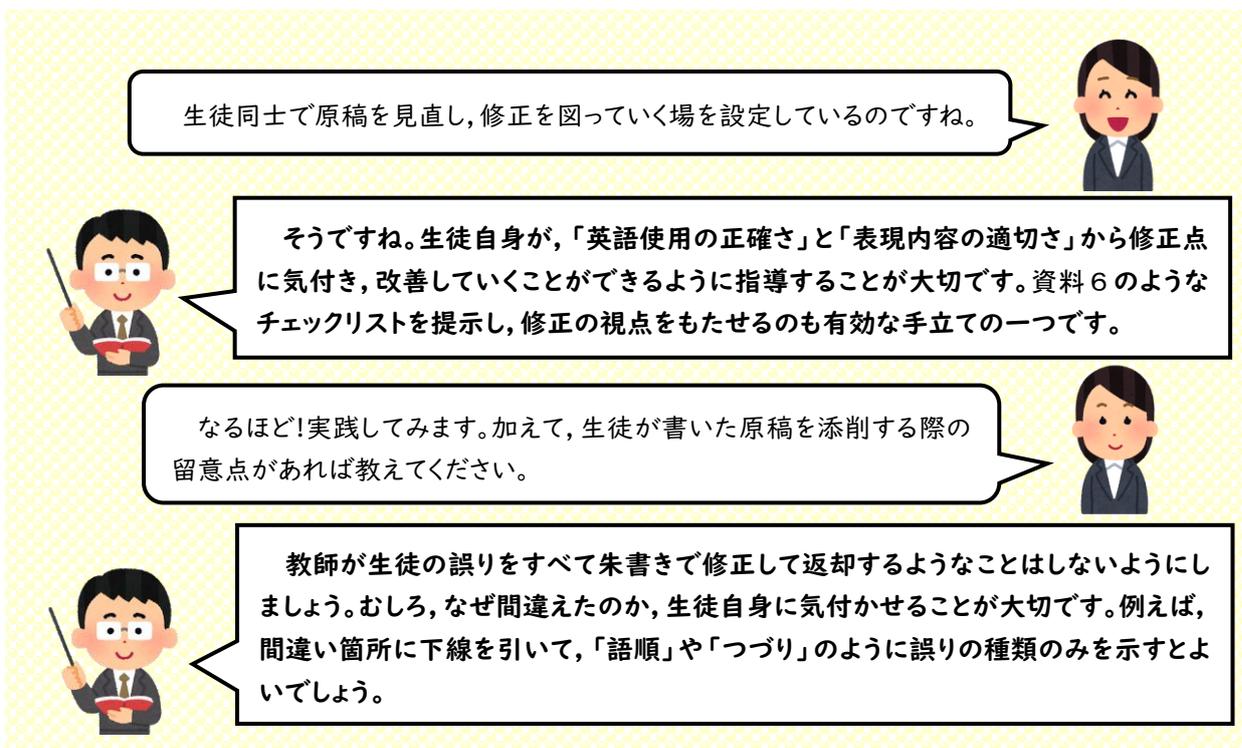
本時の言語活動等④「書いた文章をグループで読み合い、修正が必要な箇所に下線を入れる」において、生徒に提示したチェックリストを示します（資料6）。

()さんへ
()より

以下の項目ができているかチェックしましょう。できている項目には、□に✓を付けましょう。できていない箇所があれば、原稿に赤ペンで下線を引いたりアドバイスを書いたりしましょう。

| No. | <input checked="" type="checkbox"/> | 項目 |
|-----|-------------------------------------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | つづりの誤りがなく、正確に書いている。 |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 文法の誤りがなく、正確に書いている。 |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 語順の誤りがなく、正確に書いている。 |
| 4 | <input type="checkbox"/> | ALT が知りたいこと(インタビューで得た情報)について、紹介している。 |
| 5 | <input type="checkbox"/> | ALT が知りたいことについて、興味を喚起するように説明している。 |
| 6 | <input type="checkbox"/> | ALT が知りたいことについて、事実や自分の考えを整理して、お勧めの理由を書いている。 |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 文章構成(Introduction→Body→Conclusion)がよい。 |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 段落ごとに内容がまとまっている。 |

【資料6 チェックリストの一部】



※誤りの修正については、[事例2](#)pp.6-7、[事例3](#)p.7、[事例4](#)p.9も併せて御参照ください。

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストを行う必要があります。ここでは、そのための評価問題や採点の基準の例などを示します。



(1) 後日のパフォーマンステスト（アメリカの学生にメールを返信する「書くこと」）

パフォーマンステストにおいて、日本文化について、「事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を見取るために、「書くこと」に重点をおいた領域統合型の評価問題を出題しています（資料7）。「思考・判断・表現」の評価問題です。

〔指示文〕

アメリカに住む学生のジョンからあなたに次のようなメールが届きました。あなたはこれからジョンにメールを返信します。ジョンが知りたいことについて一つ選び、その具体的な説明やお勧めの理由などを含めてメールを作成し、返信しましょう。

Hi, I'm John. I'm a junior high school student in the U.S.
 I'm really interested in Japan. Especially, I want to read Japanese manga. What is the most popular manga in Japan? Please tell me the title and its story.
 I want to know delicious Japanese food too. What do you recommend? I want to try it.
 I'm looking forward to hearing from you soon.
 Thanks,
 John



【資料7 評価問題】

① 採点の基準の例

「思考・判断・表現」においては、表現内容の適切さを評価する際の条件を3つ設定しました（資料8）。その上で、パフォーマンステスト（「書くこと」）の判定基準（ルーブリック）（資料9）を作成し、各観点において評価することとしました。

- 【条件1】：ジョンが知りたいこと（日本の漫画 or おいしい日本食）について紹介している。
- 【条件2】：ジョンが知りたいことについて、ジョンの興味を喚起するように説明している。
- 【条件3】：事実や自分の考えを整理して、お勧めの理由を書いている。

【資料8 「思考・判断・表現」（表現内容の適切さ）を評価するための条件】

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--------------------------------------|---|
| a | 誤りのない正しい英文で書くことができる。 | 3つの条件を満たして書いている。 | 3つの条件を満たして書こうとしている。 |
| b | 一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。 | 1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書いている。 | 1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書こうとしている。 |
| c | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

【資料9 パフォーマンステスト（「書くこと」）の判定基準（ルーブリック）】

② 生徒のメール記述例及び評価結果



【メール記述例】

Hi, John. Thank you for your e-mail.
I like Japanese food is *natto*. 【条件1】
Natto is famouse Japanese food. It made by soybeans. It's good. 【条件2】
Pleese eat *natto*. It's very dericiasu and you can buy *natto*Amerika too. 【条件3】
 Your Friend,
 Kenta

※下線部は誤りのある英文

【判定基準(ルーブリック)に基づく分析結果】

※実際の分析は JTE と ALT が行っています。

【知識・技能】

- 綴りや語順等に誤りがある。また、受け身の特徴やきまりを理解せず正確に書いていない。

【思考・判断・表現】

- ジョンが知りたいこと（おいしい日本食）について紹介している。
⇒【条件1】を満たしている。
- 納豆について「有名」「豆からできている」と説明しているが、ジョンは納豆がどんな食べ物かあまり分からなかったため、納豆を食べたいとは思わなかった。
⇒【条件2】を満たしていない。
- 「納豆はおいしくてアメリカでも買える」とお勧めの理由を書いている。
⇒【条件3】を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------|--------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| a~c | c | b | b |
| 判断した理由 | 正確な英文で書くことができていない。 | 条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書いている。 | 条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書こうとしている。 |

生徒2



【メール記述例】

Hi, John. Thank you for your e-mail.

Do you know *Kimetsu no Yaiba*? **【条件1】**

It is the most popular manga in Japan. Main character is Tanjiro. When Tanjiro is not at home, his family is killed by a demon. Only his sister Nezuko survives, but she becomes a demon. Tanjiro starts to slay demons to turn his sister back into a normal person. **【条件2】**

I want you to read *Kimetsu no Yaiba* because it's exciting and moving. It tells you many important things like friendship and love. I think you will like it. **【条件3】**

Your Friend,

Hanako

【判定基準(ルーブリック)に基づく分析結果】

※実際の分析はJTEとALTが行っています。

【知識・技能】

- ・全て正しい英文で書いている。

【思考・判断・表現】

- ・ジョンが知りたいこと(日本の漫画)について紹介している。

⇒ **【条件1】**を満たしている。

- ・ジョンの興味を喚起するように漫画のあらすじを説明しており、ジョンは生徒2が紹介した漫画を読みたいと思った。

⇒ **【条件2】**を満たしている。

- ・「わくわくする」「感動する」「友情や愛など大切なことを教えてくれる」など、お勧めの理由を書いている。

⇒ **【条件3】**を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------|----------------------|------------------|---------------------|
| a~c | a | a | a |
| 判断した理由 | 誤りのない正しい英文で書くことができる。 | 3つの条件を満たして書いている。 | 3つの条件を満たして書こうとしている。 |